

生徒の興味関心を高めるための なぎなた授業の実践紹介

日本の最西端エリア、長崎県本土の北端に位置する松浦市。北は伊万里湾に面し、南は中山間地域の地形を生かして、海の幸も山の幸も多彩な食材を生産しています。

日本有数の養殖トラフグの生産量と、日本トップクラスの^{あじ}鰯・^{さば}鯖の水揚量でアジフライの聖地を標榜し、知る人ぞ知る高級鯖缶が人気です。また、築地で最高評価の値がつく車海老、一株から一玉しか作らないアールスメロンなど、量も質も全国トップクラスの食材がそろう市です。

歴史は古く、諸説ありますが、平安時代から、松浦党という武士集団が大陸との交易などにより栄えていました。壇ノ浦の戦いや、鎌倉時代に松浦市鷹島町が舞台となった元寇において、松浦党の水軍が活躍しました。



松浦水軍まつりでの武者行列

松浦市教育委員会

1 なぎなたのまち松浦

松浦市では平成15年にインターハイなぎなた競技、平成26年度長崎がんばらんば国体なぎなた競技が開催された。国体では、長崎県チームは少年、成年共に演技競技の部で優勝、成年試合の部で第3位、総合成績で第2位という成績を収めることができた。

また、少年演技競技に出場したのは、本市中学校出身の生徒であり、本市出身者が国体で初優勝する快挙となった。さらに、国体なぎなた競技会は、運営面、競技面

「柔道」の2種目か、「なぎなた」のみの授業の実践に取り組んだ。平成30年度からは市の財源で、「なぎなた」の授業が全中学校で行えるようになった。

(1) 課題について

①市内保健体育科教員になぎなた経験者又はなぎなたの指導を経験した者がいないため、生徒への演技指導に不安を抱えている教員もあり、モチベーションに差がある。

②生徒の学習状況を適切に評価したり、評価を指導の改善に生かしたりするためには、評価規程の設定の仕方等について検討が必要である。

(2) 課題を解決するために実践した具体的な取組について

①平成26年度から平成28年度まで、松浦市教育委員会生涯学習課に全日本なぎなた選手権大会5度の優勝を誇る板垣勇氏を配置することにより、事業の円滑な実施に努めた。板垣氏は平成29年度、長崎県立松浦高等学校に異動となったが、指導者講習会やスペシャリスト派遣に協力をしてもらっている。また、教

2 武道必修化・松浦市なぎなた事業

平成27年度から平成29年度まで、スポーツ庁（27年度途中で文部科学省からスポーツ庁に移行）



スペシャリストを招聘し、市内中学校に派遣



武道授業（なぎなた）指導資料の改訂

え子である松浦高等学校出身者の川田そらさんが、現在板垣氏の後任として、なぎなたの普及に努めている。

②松浦高等学校（なぎなた部及び放送部）の協力を受け作成した指導用のDVDを活用している。

③松浦市教育研究会保健体育部会と連携しながら事業を推進し、実技講習会の実施及び指導資料の作成、改訂を行った。

④「中学校学習指導要領解説保健

体育編」を基準に、なぎなたの「技能」の目標及び内容明示を考にした。その際、剣道の例示を参考にしながら、なぎなたの例示「基本動作」「しかけ技」「応じ技」の内容を検討した。

⑤実技講習会において、指導資料、DVDを提示し、保健体育

担当教員の意見を聴取しながら、日々の授業に役立つ資料になるよう改良を加えた。

⑥夏期休業中に指導者講習会を開催し、どの教員でも授業に取り

組めるように指導している。当初は、「形」や「しかけ応じ」だったが、「打ち込み」「演技の試合」「競技の試合」を行うなど、毎年講習内容を改善しながら行い、教師自身になぎなたに興味を持ってもらえるようにしている。

⑦市内全中学校のなぎなた授業

に、なぎなた競技のスペシャリストを派遣し、保健体育科担当教員の支援と生徒の意欲の高揚に努めた。スペシャリストは、スポーツ庁の委託事業の際には板垣氏にゆかりのある達人を全国から招聘することができたが、市の財源のみとなった現在は、板垣氏と板垣氏の教え子に指導をお願いしている。

⑧松浦市内中学校においてなぎなたの公開授業を実施し、研究協

議をとおして、学習指導要領の趣旨を踏まえ、教員の指導力向上と適切な評価の在り方について研修を深めた。

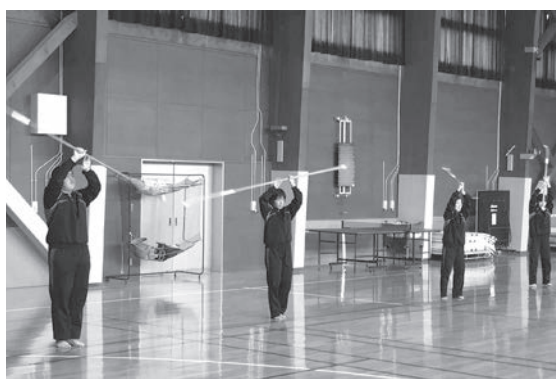
⑨日本武道館と全日本なぎなた連



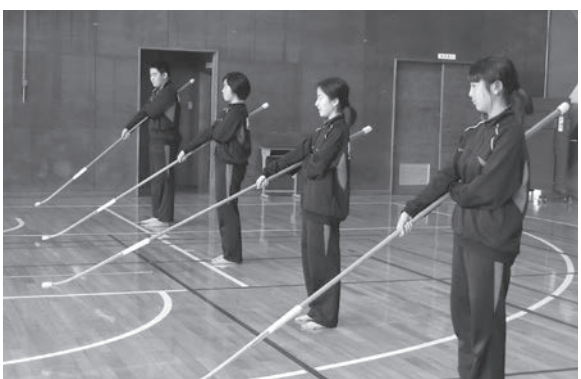
8月に市内保健体育科教職員を対象に講習会を実施



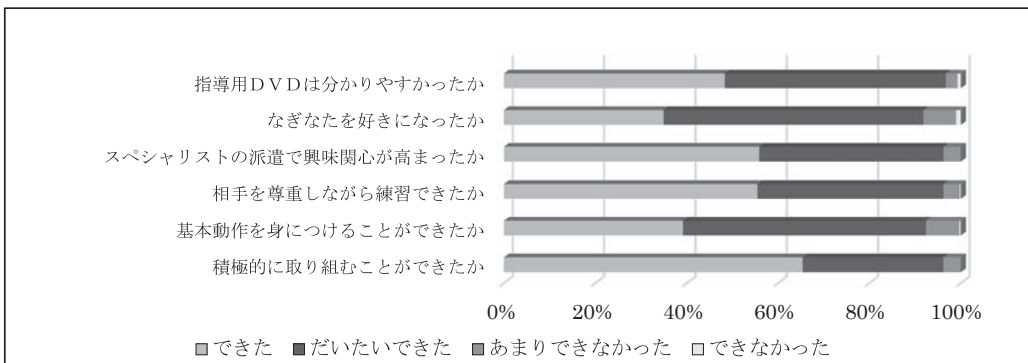
鷹島中学校の2年生を対象に研究授業を実施



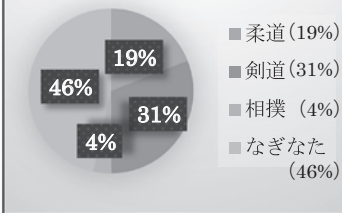
校歌に合わせてリズムなぎなたを演武する



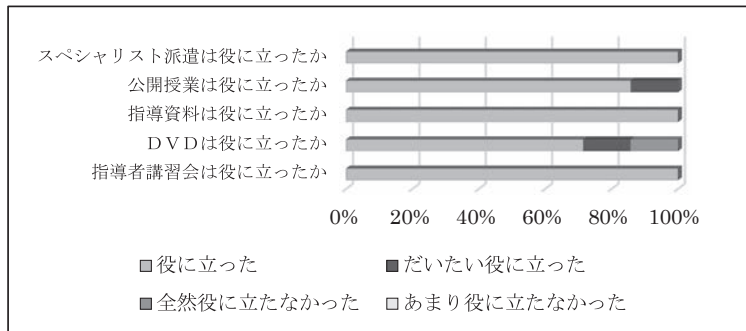
「なぎなた授業について」生徒アンケート (363人回答)



武道の授業で、どの種目を学習したいか



「なぎなた事業の内容について」保健体育科教員アンケート (7人回答)



4 まとめ

当初は、なぎなたの技の習得に時間がかかっていた。しかし、4年目ともなると教員だけでなく、スペシャリストの指導力も向上し、生徒たちの技能が予想以上に向上することができた。

そのおかげで、演技競技の大会や校歌によるリズムなぎなたを短時間で創作するなど、スペシャリスト派遣時に生徒がなぎなたを楽しんでくれるような授業展開もできるようになった。

今後、授業実践例の紹介をしながら、学校独自の計画性を持ったなぎなたの授業が展開できたらと思う。さらに、試合競技まで授業化ができればと考える。

また、2020年のインターハイで生徒たちをどう参加させるか、生涯学習課や松浦高校、長崎県なぎなた連盟と協力しながら、「なぎなたのまち松浦」としての市の取組を盛り上げていきたい。



極小規模校青島中学校でのマンツーマン授業

3 これからの課題

- ① 教員の異動がある中で、なぎなた未経験の教員に対する指導者講習会を毎年実施すること。
 - ② 作成した指導資料やワークシートを各学校で活用し、さらに活用しやすい資料となるよう工夫すること。
 - ③ 生涯学習課と学校教育課が協力することにより、地域に根ざしたなぎなたの普及につなげること。
 - ④ 体育祭でリズムなぎなたを披露するときに、全員に道着を着用させることで生徒の興味をさらに高めること。
 - ⑤ 試合競技をさせるために防具を準備すること。
- 教職員の専門的な技能と指導力の向上につながった。
- ② スペシャリストを授業に派遣したことにより、生徒の興味・関心が高まり、積極的に練習に取り組む姿が見られるようになった。
- ③ DVD・指導資料の使用、改訂にあたっては、保健体育担当教員と協議しながら改良を加えたことで、日々の授業で活用しやすいものとなった。

武道指導充実に向けて

1・2年目の実践を生かした3年目のなぎなた指導充実のための取組

- 1 武道指導充実・資質向上支援事業における取組の成果を生かし、武道指導におけるなぎなたの指導（4年目）に取り組んでいく。
- 2 実技講習会では、打ち込みや防具を着けての試合、リズムなぎなたの指導内容についての研修を深める。
- 3 3年目に改訂した指導資料を基に、松浦市の教育研究会保健体育部会の中で、授業に活用できるワークシートの改訂をしていく。
- 4 教職員の人事異動において本市に異動してきた教員に対しては、今までの研修を受けた教員から研修内容の伝達を行い、なぎなたの経験者が不在であっても、なぎなたの指導ができるための教員の資質向上に取り組んでいく。